

例会報告

第2445回

柏西合同ガバナー公式訪問例会報告議事録

日時 28年9月2日(金曜日)

場所 ザ・クレストホテル柏

時間 12:30点鐘

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

S.A.A.: 柏西RC 増谷信一様

ビジター: 柏RC 松丸隆一様

〃 少名子正彬様

〃 勝田秀一様

ゲスト: 国際ロータリー 第2790地区

ガバナー

青木貞雄様

地区幹事長

藤崎政弘様

第10分区 ガバナー補佐

石戸卓志様

〃 ガバナー補佐幹事

萩野 勝様

成田コスモポリタンRC

萩原康宏様

米山奨学生

アニョレッティ・マルコ様

会長挨拶

鈴木会長



今日は初めての西さんとのガバナー訪問ということで、西の皆さんにはいろいろとご面倒をおかけしました。感謝いたします。

ジョン・F・ジャームRI会長の今年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」の元で、7月より私たちの年度がスタートいたしました。ここに集うお一人お一人は生まれた場所、育った環境など全く違いますが縁あってロータリークラブという組織で出会いを与えられました。1人の人間として、また、ロータリアンとしてどう生きていけばいいのか。かつてGPSやナビゲーターなどなかった昔の話ですが、横浜港から旅立つ船は湾内をぐるぐる回ってから海外に出て行ったそうです。羅針盤が正しく作動しているかどうかを確かめるためにそうしていたのだそうです。私たちも心の羅針盤が必要なのではないかと感じます。奉仕の理想に向かう正しい行き先を学ぶ一時になれたらと思っています。ありがとうございます。

幹事報告

木村幹事



- ・9月6日、13日は休会になり、次回例会は9月20日(火)になります。
- ・先日、芝RCの池田会員がご説明してくださった10月24日(月)の我孫子ゴルフ倶楽部でのチャリティゴルフについての詳細が届いています。募集定員が160名です。ご都合のつく方は是非参加してくださいませようお願い致します。スペシャル・オリンピックという、知的障害のあるアスリートの方を応援するボランティア活動のチャリティゴルフです。参加費が10,000円、プレー費が23,000円、昼食代は別になります。

幹事報告

柏西 RC 水留幹事



- ・9月のロータリーレート 1ドル=102円
- ・ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ
ガバナーエレクト 寺嶋哲生様
次期地区幹事長 神野美明様
千葉県千葉市中央区椿森3-1-1-301 (10~16時)

アニョレッティ・マルコさんへ米山奨学金授与



ニコニコボックス発表

- ・本人誕生日 田代会員、菊池会員
- ・パートナー誕生日 金子会員、鈴木会員、浅野会員、中村会員
- ・結婚記念日 菊池会員
- ・鈴木健吾会員 お孫様が大学認定でフランス留学
- ・箕輪会員 欠席が多いので。
- ・馬場会長より ガバナー公式訪問ありがとうございます。

卓話

国際ロータリー第2790地区ガバナー 青木貞雄 様



国際ロータリー第2790地区2016-17年度ガバナーを拝命しました成田コスモポリタンRCの青木です。

Germ RI会長より、各クラブの状況把握、及び支援はガバナー補佐の務めであり、ガバナー公式訪問は、切磋琢磨するための複数クラブ間情報交換の場とするよう指示があったため、本年度は、3クラブが6ヶ所、本日を含め2クラブが18ヶ所で54クラブが合同、残り29クラブは単独で、7月27日から11月下旬の間に83クラブを53回に分けて公式訪問させていただく予定で、本日は15回目(24・25番目のクラブ)です。

ご案内の通り、昨年度までの当地区クラブ数は84でしたが、富津RCが6月末で解散したため、今期は83クラブでスタートです。尚、活動計画書に掲載した私の挨拶文の中の「4. 複数クラブ合同ガバナー公式訪問」に記載されている訪問回数が間違っていますので、訂正をお願いします。

また、私が所属する成田RCは、地区出向経験者も少ないDomesticなクラブのため、公式訪問の機会を生かして各クラブの活動を体験させていただくべく、毎回2人の会員が私に同行しています。本日は、萩原、及び地区幹事長の藤崎が陪席させていただきますので、宜しくお願いします。

本日の我孫子、及び柏西RCは、いずれも柏RCを親クラブとして設立され、我孫子RCが51年、柏西RCが41年の長い歴史を持っていますが、地域特性があるのか、我孫子RCは会員が最盛期の63名から現在で22名に減少しているのに対し、柏西RCは63名で高水準を維持しています。また、柏西RCは、2010-11年度に中村ガバナーを輩出すると共に、毎年のように地区委員会委員長・委員等を出向させ、地区運営にご協力いただいております。この違いの背景は何か、また、例会出席率、奉仕活動への取組み、クラブ運営等の面でも両クラブの取組みに相違がみられるため、これらについては、両クラブの考え方、取組み姿勢等について、後ほどのクラブ協議会で、意見交換をさせていただきたいと考えています。

さて、本日は、まずRIのテーマ・方針、及び地区の行動指針・運営方針について、そして、2番目にロータリーの変化と対応という2つのテーマについて話をします。

John F. Germ本年度RI会長は、

1. ロータリーに誘われた時点で、私達は、素晴らしい仲間と出会い、そして、人のために役立つことをする大きな機会を与えられる。世界には、多くの課題、助けを求めている人がいるが、我々に与えられた機会を生かすか否かは、我々一人ひとりの行動にかかっている。
そして、我々は様々な分野から集った熱心で有能な職業人の集団であり、世界を変える力、ネットワーク、及び知識の結集がある。
2. 我々は、ポリオ撲滅に取り組んでいるが、ロータリーとは何か、そして何に取り組んでいるかを地域に広め、資金援助者を含めた仲間、会員を増やすことが重要で、仲間が増えれば、我々はより大きな目標を達成することが出来る。
3. 単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に取り組む、新会員を暖かく迎え入れ、4つのテストを真に実践できる会員、リーダー、クラブが必要だ。
4. P. ハリスがロータリーを創設した目的「価値観を分かち合える人をみつける」は現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずることだ。
5. ロータリアンは平等で、私たちはチームの一員だ。皆で協力して多くの人の人生を良いものにしよう。と述べた上で、私は、ポール ハリスと同様、人生最大の目的は人類に奉仕することと信じ、2016-17年度のテーマを「Rotary Serving Humanity=人類に奉仕するロータリー」としました。

そして、対外的には、今やパキスタンとアフガニスタンの2ヶ国となった「ポリオの完全撲滅」、内部に向けては、より大きな目標を達成するための「会員増強」を重点取組み事項とすると共に、ロータリー戦略計画に基づき、

次ページへ続く

- a) クラブのサポート強化
 - b) 人道的支援の重点化と増加
 - c) 公共イメージと認知度の向上
- に努めるよう私たちに求めました。

私は、志を同じくする集団は、その目的追及び活発な活動の展開に仲間の拡大が欠かせないと考えます。ただ人数が多ければ良いという話ではありませんが、ロータリーも同じで、会員が多ければ多いほど、私たちは素晴らしい仲間と出会う機会が増えます。また、奉仕活動を含めた種々の活動を活発に展開できます。そして、結果的に地域における知名度が高まり、新しい仲間の輪の拡大に繋がると思います。

「ロータリーとは何ですか?」、また「ロータリーは何をやっている団体ですか?」と聞かれて答に窮する会員も多いと思います。私は、「自らの職業を通じ(倫理観は大前提)、また出来る範囲で周りの人の役に立つことをする心がけを持つと共に、価値観を分ち合う仲間とのFellowship、即ち友好関係を通じて自らを高める人の集まり」と答えます。

従って、既にロータリアンとなって素晴らしい仲間との出会いを、そして他の人のために役に立つことが出来る機会を与えられている私達は、ロータリーに対して感謝の気持ちを持つと共に、この感謝の気持ちを分ち合う仲間の拡大に挑戦すべきと考え、地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。言い換えれば、皆さんが、ロータリアンであることに感謝の念を持つことが出来るような活動を展開していくことが重要です。

東京のあるRCが、先日、東日本大震災で被災した福島盲学校の生徒・先生をハワイに招待しました。依頼を受けて、私が出発に先立つ成田空港でのお手伝いをarrangeしたことから、帰国後、ハワイのロータリアン及び盲学校生と交流した時の参加者が感激した姿を見てロータリアンになって良かったとの感想を付したお礼のmailを頂戴しました。

このように、ロータリアンになって良かった思うことが出来る活動を一生懸命追及することが、ロータリーにとってだけではなく、ロータリアン本人にとって大事だと思います。

さて、本地区会員数は、1995年4月の4,378人をPeakに減少しましたが、2012年6月末の2,689人で底を打ち、その後わずかながら増加に転じ、至近の本年6月末は2,739人でした。しかし、地域特性もあってか2極化が進んでおり、会員数は最大のクラブが80名に対し最少は5名です。

50名を超える大きなクラブが14、40名台のクラブが9あると共に、30名台のクラブが20で、これらを足すと43クラブとなり、全体の5割強です。

他方、残り40クラブが会員29名以下で、そのうち13クラブは会員が19名以下です。

3年前、私が地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を拝命した折、委員の皆さんとアンケート調査等を行い、会員増強について色々研究した結果は以下の通りでした。

1) 会員減少期でさえ、本地区では毎年約200名超の新入会員が誕生していました。問題は、入会者と同数、あるいはそれ以上の会員が退会したことです。尚、このような知見に基づき、私が会員増強委員長を務めた翌年から地区の組織が、「会員増強・退会防止委員会」に改称しました。

2) 後任が来る大手企業の社員の職場間異動を別にすると、退会者の多くは、高齢者、及び入会5年未満、特に入会2~3年の会員でした。

3) 会員歴5年未満の会員が退会する背景には、例会出席等の活動参加に時間的余裕がない、ロータリアンになったが活動に魅力がない、奉仕活動への取組みが少ない、幹部と意見が合わない等がみられました。会員増強に関する他地区の資料では、入会理由として職業上の繋がりが大多数で、退会理由としては、仲間意識の薄れ、親睦活動に魅力が無い等が多く見られました。

尚、これは避けて通ることが難しい問題ですが、日本の会員数増減はGDPの変化に呼応しているという見方もあります。

このような状況を勘案すると、我々がまず取組むべきは、会員がロータリアンになって良かったと思うような活動をクラブが追求することによって退会者を減らすことです。

具体的には、出席したくなる例会、参加したくなる親睦・奉仕活動の展開、及びロータリーを理解し、かつロータリー活動に対する関心を深める研修の強化です。

私が学校を卒業して企業に勤め始めた約50年前、職場では、部長は元より、課長の顔を見ることがまれでしたが、1990年代に入って産業のGlobalization、即ち国際化が進むと、企業間競争が激化し、大手企業でも今や課長・部長は元より、取締役も率先して仕事に直接携わらざるを得ない状況、言い換えれば職位があがるほどに仕事が厳しくなり、中には、社長も大部屋で一般社員と一緒に仕事をする大企業も出てきました。ロータリーの根幹は職業奉仕であり、自らの職業をしっかりと務めることが第1です。従って、気ぜわしい現在の世の中で貴重な時間をロータリー活動に割くには、私達は、今まで以上に魅力ある活動を展開しなければ会員の維持、また新規会員の勧誘

は難しいと思います。

ロータリーは単年度主義と言いますが、これは会長、ガバナー等の任期で、会員は毎年変わりません。従って、運営は継続性を以って行われる必要があります、仲間の拡大に繋がる元気なクラブ作り、研修を通じた会員歴の短い会員の育成等は、継続的取り組みをもって対応する必要があります。

会員増強と言うと、「質か量か」の議論が先行し、行動が伴わないケースがよく見られます。クラブの中には、会員が少なくても、会員歴の長い会員を中心に模範的な活動を展開しているクラブもありますが、会員の加齢は避けて通ることが出来ず、このようなクラブは、新入会員、特に若年新入会員の勧誘に力を入れる必要があります。

ロータリー活動の経験が浅い私ですが、最近数年に地区委員、ガバナー補佐等を体験し、ロータリー活動・歴史等についての知識が豊富で、研究を常に怠らない会員と知合うことが出来ました。その結果、私は、斯かる仲間から色々教えを受けています。ロータリーには、ロータリー活動についての識見に富んだ会員も必要ですが、多くの会員にこのような活動を望むのは難しいと思うと共に、全員がこのような会員である必要は無いと思います。それよりも、例会に出席し、お互いに意見を交わし、知らないことを学んで成長していくことが大事です。

111年の歴史を通じて変化してきたロータリーには、こうでなくてはいけない、あるいはこうあるべきだと言う絶対はなく、それより多様性が重んじられると共に、理念を求めるよりも実践・行動が重んじられています。ロータリーには、落ちていくゴミを拾うより、ゴミを捨てない人を育成しようとの言い伝えがありますが、私たちは、日々、道に落ちていくゴミを拾う、また、仲間に声をかける等、何でも良いから、一日一善、人の役に立つことをしようではありませんか。

従って、Germ国際ロータリー会長の言にもある通り、4つのテスト、ロータリーの目的、あるいはロータリアンの行動規範が実践できる人、また実践しようとする人であれば、誰でもロータリアンになる資質を備えているのではないのでしょうか。大事なことは、ロータリーに加入した新会員と私たちが一緒に学ぶ謙虚さを持つと共に、知らないことを教え合い、次の時代のリーダーを育てていくことです。

このため、今年度は、会員歴が短い多くの会員の研修強化を図れるよう、地区主催ではなく、約10年前まで行われていた分區別会員歴5年未満会員研修を復活させると同時に、結果として、ここ2年は秋の行事となったIM開催を年明けに戻しました。

もう1つ忘れていけないことは、創立25、30年を迎えたクラブの中に会員減少が顕著なクラブが見られることで、クラブ運営は常に課題を見つけ、その解決に一生懸命取り組んで、この時期を乗り切ることが重要です。

私は、会員増強と言わず、あえて仲間の拡大と言いますが、全てのクラブが元気なクラブとして充実した活動を追求し、志を同じくする仲間の輪の拡大に繋げていただくよう、今年度ガバナー月信最終頁で元気なクラブ紹介をしています。皆さんには、是非、他のクラブの模範となるような元気なクラブ活動をガバナー月信で披露していただくようお願いします。

RI会長は、会員51名以上のクラブに2名以上、50名以下は少なくとも1名の会員純増目標達成を我々に求めています。皆さんには、会員数回復に向け、この目標以上の会員純増を是非実現していただくよう、そして同時に、①来年のR財団100周年に向けて、例えば地域の奉仕プロジェクトにR財団100周年記念事業の冠をつけていただくこと、また、②ここ2年続いている地区としてのR財団寄付ゼロクラブ0の継続協力依頼、出来れば上期の寄付納入、そして、③情報システム化が進む国際ロータリーにaccessするためのMy Rotary登録推進等をお願いします。

さて、本日の卓話の2番目のテーマは、変化するロータリーと、私たちの対応です。

今年1月、ガバナーになるため受講が必須の国際協議会に参加した折、来年6月に米国ジョージア州アトランタで開催される国際協議会のスポンサーにコカコーラ社が指名されたとの発表があると同時に、コカコーラの文字とロータリーのロゴマークが印刷された赤いセロファンで包まれたコカコーラのびんが晩餐会の席に提供されたことに、私は、ロータリーもこんなことをするのかと驚かされました。

本年4月の規定審議会では、標準ロータリークラブ定款の近来稀な大幅改定が行われました。しかし、その多くは、義務ではなく、各クラブの裁量範囲を広げる任意規定の新設です。即ち、義務的規定改定は、

- 1) 理事に会計を含む
- 2) 理事会議事録の作成、及び会員への60日以内の回覧
- 3) 少なくとも①クラブ管理運営、②会員増強、③奉仕プロジェクト、④公共イメージ、
⑤ロータリー財団の5つの委員会のクラブ内設置
- 4) 出席免除会員の条件に、少なくとも20年以上ロータリアンであることを付加
- 5) Eクラブの名称と定義の廃止

次ページへ続く

- 6) 2017~18年度以降の人頭分担金引上げ額を現在の年間USD1からUSD4に変更
- 7) 職業分類は残すものの、会員身分の条件緩和
- 8) ローターアクターとロータリアンの二重登録可能
- 9) 年会費の徴収義務は残ったが、入会金の徴収義務は廃止です。

これらは本年7月1日以降遵守しなければならない新规定ですが、この中で、会員身分の条件緩和、及びローターアクターとロータリアンの二重会員可能は、規定として排除できないものの、新入会員の選考にあたり、別の理由で職業経験の無い人、また、ローターアクターの加入を排除することが可能です。

そして、例外規定として新たに導入された

- 1) 例会は最低月2回開催すれば良い。
- 2) 従来の会合型クラブの一部例会のオンライン化可能
- 3) 祝祭日がある週の例会は休会に出来る

等を採用するか否かは、クラブの裁量であり、徴収義務が廃止された入会金を含め、クラブ細則でいかようにも決めることが可能であると同時に、従前の運用形態を継続することも可能です。

また、会合規定で例会のオンライン化が認められているため、名称は別にしてEクラブの設立が引続き可能です。しかし、逆に言うと、これら緩和された規定に基づき、

- ①入会金無料、②例会は月2回、③例会の1部のオンライン化、
- ④祝祭日のある週の例会休会、 ⑤職業経験の無い人も会員にする、
- ⑥ローターアクターも会員にする等のクラブが出現する可能性があります。

ご案内の通り、各クラブはRIの管轄下であり、地区の管轄下にはないため、私、または地区は、皆さんのクラブの運営形態について助言はできません、指導・指図することは出来ない仕組みになっています。従って、地区として皆さんに統一した運営基準を提示・指図することは出来ません。

従って、地区より各クラブに8月15日付でご案内した和訳「国際ロータリー定款」、「国際ロータリー細則」、「標準ロータリー定款」の内容をしっかりと確認し、標準ロータリークラブ定款で定められた規定の中で、クラブがどのような運営形態を採るかを会員間で十分に話し合い、クラブ細則に反映していただく必要があります。

そして、各クラブの運営形態に差異が出た場合、会員のクラブ間移動が発生する可能性が否めないことにも留意して下さい。

長い歴史を誇る我孫子・柏西両クラブは、今後ともロータリーの基本に沿った活動を展開されると思いますが、変化するロータリーの現実を理解する共に、各クラブが採る色々な運営形態を認める寛容さ、広い心を持って今後の活動に取り組んでいただくようお願いします。

以上を以って卓話とさせていただきますが、最後に、9月13日に開催する地区大会記念ゴルフ大会(これは既に予約を締め切りましたが)、及びRI会長代理に「ロータリーの樹」考案者の渡辺好政元RI理事をお招きして9月24・25日に成田市で開催する地区大会(2日目の記念講演は、日曜日朝のTV番組サンデーモーニングでおなじみの日本総研会長寺島実郎氏による「世界情勢と日本経済の将来展望」)の紹介、及び多数の皆様の参加をお願いして、話を終わります。

どうもありがとうございました。

次回例会のご案内

柏西 RC 増谷会員

今回は通常例会です。

お祝い事、臨時総会、理事会があります。

卓話は金子正会長エレクトにお願いしています。

閉会の言葉

柏西 RC 馬場会長

青木ガバナー、規定審議会の件についてもわかりやすく説明していただき、ありがとうございました。これで、我孫子RC、柏西RCの合同例会を閉会いたします。ありがとうございました。

クラブ協議会（我孫子ロータリークラブ）

司会：木村幹事

開会の言葉

鈴木会長

柏西クラブ、我孫子クラブの合同クラブ協議会を開催したいと思います。
よろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会活動計画

服部委員長



活動計画書の36ページをご覧ください。

今年度、我孫子クラブとしては会員増強と社会奉仕に積極的に取り組んでいきたいと思っています。昨年度、我孫子クラブは創立50周年を迎え、社会奉仕活動を十分にできなかったため、今年度は大いに社会奉仕活動をやっていききたいと思います。

活動計画案として、手賀沼及び手賀沼周辺的环境整備に関連した活動を行いたいと思います。昨年行った周年記念事業の桜の植樹との相乗効果を目指したいと思います。具体的には、遊歩道の距離表示板の設置、清掃活動への参加、手賀沼周辺での植樹、遊歩道へのベンチの設置等を考えています。

他には、クラブメンバーによる市民を対象としたワンストップ総合相談、一昨年まで行っていたレンゲ祭りの復活、来年度に向けての財団の交付金を活用した大規模な奉仕活動計画の策定等です。

手賀沼周辺を我孫子市は桜の名所にしたいということで桜の植樹を市民に呼びかけています。手賀沼の我孫子市側には人が集まるスポットが2箇所あります。手賀沼公園と手賀沼大橋のたもとの親水広場です。親水広場には水の館という建物があり、我孫子市が千葉県から昨年払い下げを受け、先々月から改修工事をしています。来年3月にはリニューアルオープンする予定です。

手漕ぎのボートを手賀沼に浮かべて、捨てられている空き缶を回収する、市内の病院にロータリー文庫を寄贈する等の案も考えています。

会員増強委員会活動計画

小池委員長



今年度の我孫子RCの会員数はなんと22名で、創立時の24名を割ってしまいました。会員増強が急務の課題であることは会員全員の共通認識でもあります。

ジャームRI会長の今年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」の元、クラブ運営委員会と協力し、例会を活性化させるとともに会員相互の親睦を図り、会員にとって魅力のある組織を目指して会員増強、退会防止に努めたいと思っています。まずは純増2名を目標に取り組んでいきたいと思っています。

職業分類表の未充填分野から増強し、会員になってほしい人リストを利用して情報を共有したいと思います。

一生懸命に勧誘して、ご本人が入会の意志を示してくださった後に、土壇場でお断りした大変失礼なケースが以前ありました。今年度は会員になってほしい人リストを活用して、本格的な勧誘の前に会議でよく検討するようにしたいと思います。

単に会員人数を増やすことを目的とせず、ロータリーによる良き活動をより多く実現し、将来ロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことを目的にしていきたいと思っています。

総評

青木ガバナー



会員増強と社会奉仕活動の活発化の2つがメインテーマとのことで、ぜひ皆さんで協力して頑張ってくださいと思います。

ぜひロータリー財団の補助金を活用して奉仕活動をしていただきたいと思っています。そのためには来年1月末に開催される財団のセミナーに参加していただく必要がありますので、よろしくお願いいたします。

会員増強については、グループで入っていただく方が入りやすいと思います。5名の会員増強が実現しますと、地区から表彰もされます。退会防止には、たとえばゴルフ、野球、二輪などの親睦のつながりも役に立つと思います。以前、やめようと思っていた若い会員の方がロータリーで野球をやるようになり、5年経ったら幹事になり、その後会長になり、いまやそのクラブを引っ張るだけのリーダーになられています。邪道だと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、意味があることだと思います。

質疑応答

提案 我孫子RC 広報・公共イメージ委員会 依田委員長より

以前、青年会議所で全国紙の新聞に1面で広告を出して知名度が上がったことがありました。ホームページやSNSだとなかなか伝わらないので、ロータリーでもできないかなと考えています。千葉県や全国に向けて、大きな広告を出していただければ、少しでも知名度が上がるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

青木ガバナーより

私共のクラブでは千葉県のケーブルテレビでクリスマス家族例会の様子を写してもらったりしました。

新聞の広告ですが、ロータリー財団の学友会が11月に100周年のシンポジウムを開き、RIのジャーム会長も参加され、それを記念して新聞の1面広告を出すそうです。ただし、それには約2000万円かかるそうです。1万ドルを国際ロータリーが出してきて、残りを日本全国の9万人弱の会員に1人250円の任意の寄付をしてもらおうという案があります。

ちなみに5月にライオンズクラブが読売新聞に1面広告を出したそうで、それに対抗してという部分もあるようです。

質問 我孫子RC 新入会員 福武会員

本年度7月に入会しました。例会に積極的に参加することによって、ロータリーについて知ることができればと思っています。ガバナーが入会されてから今までの間、軸となった意識やお考え、また、ロータリアンとして共存していく中で身に付けていかれたこと等アドバイスしていただけたらと思い質問させていただきました。

青木ガバナーより

私は、企業の中で前任者からの引き継ぎでロータリークラブにやむなく入りました。仕事も忙しく、当初は欠席も多い不良会員でした。2、3年経った頃、1業種1社ということで、前任者がおまえが出席しないとクビになる、そうすると競合他社に席を取られると怒られ、出席するようになりました。

私は空港に勤めていて、金網の中の成田空港しか知らなかったのですが、ロータリークラブに出席するようになり、会員の方たちと飲みに行くようになり、世界が非常に拡がりました。

私共のクラブは外部卓話が多く、いろいろな知識を学ぶことができました。

また、私共のクラブには毎年1回、ホームミーティングというものがあり、12、3人でグループに分かれて、いくつかのテーマを出して話し合うということを行います。お恥ずかしい話なのですが、初めて参加した時に、私は、なぜ仕事が忙しいのに毎週集まらないといけないのですかと話しました。その時に、ロータリーというのは皆が集まって意見交換をして、自らを高めて行くことが大事なのだから毎週集まるのだと言われました。

ロータリーは利己より利他なのだとおっしゃりますが、やはり、ロータリーの活動を通して自分を高めるといことが一番大事なのだと思います。

質疑応答



質疑 柏西RC 増谷会員

入会していただきたい方のリストアップですが、悪い情報があった場合、その情報が広まったりしないように、個人情報を守りながら会員増強するのにうまい手ではないのかな、という話が出ました。

柏にはライオンズさんも多いのですが、最初に誘われた方に入会されるのではないかと思います。西にも1年がかりでやっと入会していただいた方がいらっしゃいますが、たとえば、お昼に現場に出ている方が着替えて出席して、半日くらい時間を束縛してしまうということをお納得していただくのに大変むずかしい部分がありました。

二輪の会が今、33名まで会員が増えました。以前ロータリーのメンバーだった方が、二輪の会があるなら、とまた入会していただいただけそうで、拡大につながっている気がします。いろんな分野を通じて入会してもらうことも大事なかと話し合いました。

青木ガバナーより



成田RCはロータリーに熱心なクラブですが、我々成田コスモポリタンRCは仲良しクラブで仲が良いという方を優先しています。業種については一業種一社としていますが、業種を拡げて入会してもらうこともあります。たとえば、ホテルは空港ホテル、都市ホテル、シティホテル、等です。

ライオンズクラブとロータリークラブの両方から誘われていて、両方に入らないという方もいらっしゃいます。

服装については、ネクタイをしていないといけないというわけではないと思います。アメリカなどでは皆フランクです。



質疑 柏西RC 金本会員

私共は中村パストガバナーをはじめ、歴代のパスト会長が大勢いらっしゃるテーブルです。来週、規定審議会の決定を受けて、入会金10万円の削除を臨時総会で上程します。そういうことも含めて、クラブ運営に関して大幅な柔軟性を認めるような方向性が出ているのは何故なのか教えて頂ければと思います。

青木ガバナーより

ロータリーは職業奉仕という所から始まり、日本では1920年に東京RCが名門の方々で始まった時の理念が残っているのか、職業奉仕に重きを置いています。が、世界的には今や「奉仕」という傾向が強くなっています。

ロータリーは今、130万人を目指していますが、2002年からは横ばいです。ブラジルやインドは増えていますが、アメリカ等は減っています。今までの精神的な奉仕から、お金の面での奉仕になると、会員を増やさなければなりません。

例会の回数を2回に減らす、入会金をなくす等、やってみて効果がなければ見直してみてもよいのではないかと思います。

質疑 柏西RC 勝田会員

RIでの決定事項については従うべきだろうと話しました。

Eクラブについて、実際に2790地区にあるのかどうか、ある場合は何人くらいで具体的にどのような活動をしているのかお聞きしたいと思います。

かつて東京でオリンピックが開催された時、ロータリークラブが聖火台を寄贈したというような話を聞きました。2020年の東京オリンピックでもロータリーが何か関わることができればと思います。何か考えていらっしゃるのでしょうか。

青木ガバナーより

2790地区には現在Eクラブはございません。日本全体ではEクラブが11クラブあります。

オリンピックに関しては、東京RCの100周年も2020年ということもあり、日本全体のロータリー100周年の委員会が作られて検討されていますので、そういう流れの中でオリンピックのことも考えられていくと思います。当地区としてはまだ何もありませんが、ぜひご提案を頂ければと思います。

質疑 柏西RC 金子会員

こちらのテーブルは柏西RCと我孫子RCが4名、4名だったのでお互いのクラブの情報交換のよな形になりました。

我孫子さんの方ではすでに6、7年前から毎年理事会で議論して、入会金をサービスにしているとのこと、先を行っているなと思いました。

我孫子さんは第5週目の例会は夜間家族例会にしているとのことでした。

入会金について、名称を変えているクラブはいくつありますか。

青木ガバナーより

入会金について名称を変えているクラブは1箇所ありましたが、名称を変える必要はありません。

食事代は、私共のクラブの場合、40人まではホテルの方で対応してくれています。ゴルフ場のビュッフェを利用しているクラブは食べた方だけお金を払う形にしているそうです。

日本では95%くらいのクラブが昼にやっていますが、外国では昼は15%くらいで朝や夕方、食事も食べた人だけ払うようにしているようです。



質疑 柏西RC 森市会員

こちらのテーブルでは、ガバナー公式訪問とは何ぞやということ、クラブ協議会の内容について説明してから、地区行事等の参加の減少について、会員増強・退会防止、規定審議会での大きな変更点等について話しました。

昨年、老人ホーム、幼稚園、大堀川の清掃、献血、ネパール支援、柏まつり、手賀沼エコマラソン等、たくさんの行事に参加しましたが、いつも同じような人数でした。奉仕活動のマンネリ化や委員会事業の準備期間の短さの改善、参加者へのペナルティ、会員の関心を集めるための委員長による事業についての説明をもっとするべきというような話をしました。

青木ガバナーより

ガバナー公式訪問は、皆さんがそれぞれ、どこで何が起こってどうなっているかを確認して一緒に考えていく場と考えていただければいいと思います。

柏西さんの方は年代の差があり、行事参加の減少が問題になっていますが、たとえば、うちのクラブでは一番出席率が悪い人を出席委員長に任命します。出席せざるを得なくなり出席してくださいます。新しい方が委員長になれば、今までのやり方を改善できることもあります。

奉仕活動については、単年度はしがらみを切って新しいことができるという利点がある一方で、一年間は短くて何もできずに終わってしまうということもあります。

質疑 『地区戦略計画委員会』では何を検討しているのか:

青木ガバナーより

本年度は未だに活動を開始しておらず、検討事項は未定です。

昨年度は地区に戦略協議会及び地区計画委員会があり、

- 1)ガバナー事務所の継続
- 2)分区編成

等について直前ガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー及び関係委員会の間で検討が行われましたが

- 1)についてはガバナーの専権事項である。
- 2)については具体化前に年度が終了しました。

閉会の言葉

柏西RC 馬場会長



長い時間、活発なご意見、ご質問ありがとうございました。今日の質問を胸に一年間頑張っていたいただきたいなと思っております。ありがとうございました。

例会風景



今週の表紙「手賀沼親水広場」我孫子市高野山新田193

手賀沼親水広場は、手賀沼のほとりの我孫子市鳥の博物館の傍らにあります。水の館と広場で構成されていて、水の館では無料のプラネタリウムも楽しめます。じゃぶじゃぶ池や水の広場があり、小さな子ども達が水遊びを楽しむ事ができます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。